

平成25年度一般会計予算 17億8000万円で編成

平成25年度当初予算の概要をお知らせします。厳しい財政状況が続く中、引き続き経常経費の削減に努めることもに、住みやすい村づくりに取り組むため予算編成を行い、本年度の一般会計予算は総額17億8000万円となりました（前年度比4000万円増額）。

平成25年度予算は、主に子育て支援や生活環境、学校教育の推進等に重点を置いた予算となっております。また、地方交付税措置のある過疎対策事業債の活用を行うものの、財源不足を補うため、財政調整基金から4300万円の繰り入れを行いました。

歳入

歳入は、税金などの「自主財源」と国や県に頼った「依存財源」の大きく2つに分けられます。「自主財源」が多いほど、

村独自のサービスを行ったり、将来に向けて積立を行うなど行政の自主性と安定性が確保されます。

東秩父村は、「自主財源」が全体の20・3%で、依然として財源の多くを「依存財源」が占めている状況です。

一般会計予算における歳入は、前年度と比較して、長期化している経済不況により、個人住民税や固定資産税などの村税は523万円減少し、県支出金も減少となりましたが、村の骨格である地方交付税は、昨年度より1900万円の増額とし、10億

歳出

1800万円を見込みました（歳入総額の57・3%）。さらに、村道4271号線道路改築工事のため、国庫支出金が昨年度より5806万円増加し、1億4635万円となりました。

歳出は、民生費、商工費、消防費、教育費等が減額となったものの、総務費、農林水産費、土木費等で増額となりました。

性質別歳出は、「義務的経費」と「投資的経費」、「その他の経費」に分けることができます。

「義務的経費」は人件費、扶助費、公債費で構成され、支出が義務づけられている経費で、人件費は前年度と比較して828万円の減額となりました。

投資的経費は、道路や公共施設の建設など行政水準の向上に

主要事業

かかる経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されます。今年度の投資的経費は2億1638万円で、前年度と比較して1187万円増額しました。

平成25年度の主要事業は、村道4271号線（萩平からふれあい広場へ）道路改築事業を進め、生活交通網の基盤整備を行います。また、小中学校プールの改修工事の設計を行い、教育環境の整備を進めます。さらに、保護者の経済負担の軽減を図るため、学校給食費および通学バス利用料の助成を行います。防災事業として、災害時に備えて炊き出し用品や備蓄食糧の確保など災害に強い村づくりを推進していきます。

特別会計

村では、一般会計とは別に、特定の事業を行う場合に、そこから発生する特定の収入を支出に充てて独立してやりくりする

特別会計があります。国民健康保険特別会計や簡易水道事業特別会計など5つの特別会計の予算総額は10億3060万円で、前年度と比較して2010万円の減額となりました。

会計別予算額

（単位：千円、%）

会計名	平成25年度	平成24年度	増減額	伸び率	
一般会計	1,780,000	1,740,000	40,000	2.3	
特別会計	国民健康保険	449,000	450,000	△1,000	△0.2
	介護保険	421,000	417,600	3,400	0.8
	合併処理浄化槽事業	45,000	63,000	△18,000	△28.6
	後期高齢者医療	36,200	36,500	△300	△0.8
	簡易水道事業	79,400	83,600	△4,200	△5.0
計	1,030,600	1,050,700	△20,100	△1.9	
予算総額	2,810,600	2,790,700	19,900	0.7	